

スポンサー様

Terengganu World Jet Race Challenge 2013

開催場所

Malaysia, Kuala Terengganu

出場クラス

Pro/Am 800 Open

Pro/Am R/A 4-Stroke Stock

Pro R/A 4-Stroke Open

< 結果 >

Pro/Am R/A 800 Open Moto#1:14 位 (ヘッドのOリングが抜けてしまいリタイア)
Moto#2:12 位 (ヘッドのOリングが再度抜けてしまいリタイア))
Moto#3:7 位
総合 : 10 位

Pro/Am R/A 4-Stroke Stock Moto#1:1 位
Moto#2:2 位
Moto#3:6 位 (1 位走行中、エンジンブロー)
総合 : 3 位

Pro R/A 4-Stroke Open Moto#1:2 位
Moto#2:4 位
Moto#3:7 位 (エンジン及びステアリングトラブル)
総合 : 4 位

< Pro/Am R/A 800 Open >

このクラスはタイでとても盛んなクラスである為タイ人のライダーの参戦が多く、12月にタイで開催される King's Cup World Grand Prix と同レベルのレースが展開されました。僕自身、今年の King's Cup においてはこの R/A 800 Open クラスへの参戦を考えているため、タイのトップレーサーが集う今回のレースはとても良い練習になると考えました。

Moto#1 ではスタート前にヘッドの O リングが抜けてしまい、エンジンに水が入ってしまう状態でのスタートとなりました。このトラブルを見つけたオーナーから、「3 周だけ走って帰ってこい」という指示が出た為、それに従い 3 位走行中でしたが途中でリタイヤをする事になりました。よって結果は最後尾の 14 位となってしまいました。

Moto#2 では O リングを直したため、抜群のスタートを切ることができました。タイのチャンピオンにも引けを取らないスタートができ、好位置で 1 ブイに向かうことができました。しかし、1 ブイを目前にして再度 O リングが抜けてしまい失速をしてしまいました。それにより順位が徐々に下がってしまい、ホームストレートを 6 位で通過しました。その後はどうにか順位を守りつつ走っていたものの、4 周目を迎える辺りにエンジンの回り方がおかしくなってきてしまった為、やむを得ずリタイヤをしました。今回のエンジントラブルの原因は、片方のプラグキャップが外れたことにより起こったものでした。レース前にプラグキャップをタイラップでしっかりと止めておいたので、まさかそれがレース中に切れて外れてしまうとは思いませんでした。

Moto#3 では今回こそはと思い万全の状態でのスタートを切ることができました。スタートのタイミングは良かったものの、内側にいた 2 艇に先行されてしまいインコースの 3 位でホームストレートには 6 位で通過しました。前にいる 5 艇はどれもタイライダーの船であり、1 艇ずつ頑張って抜いていこうと思いました。しかし、あまりにも気合を入れすぎてしまった為か、3 周目の最終ブイをクイックに曲がりすぎてブイの上に乗かってジャンプしてしまいました。これによってイレイザーブイを回らなきゃいけなくなってしまう為、順位は変わらなかったものの TOP5 には遅れを取ってしまいました。また、5 周目には Moto#2 同様にプラグキャップが突如抜けてしまい、レースコースを外れ自分でそれを修正しコースに戻りました。しかしその後も船の調子の悪さが続き、1 艇に抜かれての 7 位でのゴールとなりました。

< Pro/Am R/A 4-Stroke Stock >

Stock クラスはどのライダーの船の速さも均衡しているため、ホールショットを獲ることがとても大事なクラスです。しかし自分の乗った船は 1.5 秒程キャビテーション(エンジンパワーに対してインペラのマッチングが合わないために起きる空回りの現象)を起こす船であったため、それを考慮に入れてフライングを取られない程度にアクセル早く握らなければいけませんでした。

Moto#1 では上手くキャビテーションが無くなって動き始めた瞬間にスタートが切られたため、抜群のスタートでした。インコースのホールショットで合流では 2 位でホームストレートに入りました。1 位の船の方が自分の船より速いものでしたが、2 周目には全コーナーをクロスラインで曲がりピッタリと後ろを追いかけていた為、1 位のライダーの一瞬のミスを突き追い抜くことができました。その後は 2 位の船との距離を考えながらエンジンを温存して走り、1 位でのゴールとなりました。

Moto#2 はインコースの 2 位で合流では 3 位でした。今回は 2 位の選手を追い抜くのにこずってしまった為、1 位まであと 1 歩というところでゴールとなってしまう 2 位でのゴールとなりました。

Moto#3 も Moto#1 同様のスタートができた為、アウトコースのホールショットで合流でも 1 位でした。それからは常に 2 位のライダーとの間隔を考えながらエンジンを温存しつつ走り「このままいけば絶対優勝だ!!」と考えながら走っていました。しかし 8 周目に入るところで、突然エンジンが回らなくなってしまいました。また、何か臭いな...と思って後ろを振り返ると排気からは真っ白い煙が出ていた為、エンジン内にオイルが入っていつていることがわかりました。よってその場でエンジンを止め、レスキューされてのゴールとなりました。

< Pro R/A 4-Stroke Open >

この Open クラス用の船をレース前からテストしていたものの、レース会場での練習走行中にエンジントラブルが起きてしまった為、急遽 Stock クラスで使用していた船で参戦しました。船の速さは Stock と Open とでは格段に違うものの、やむを得ないため「Stock 艇でも頑張ろう!」と思い走りました。

Moto#1 ではスタートをタイミング良く出れたため、インコースの 2 位で合流では 3 位でした。その後はゴールまでの間に 1・2 位にどんどん離されていつってしまったものの、1 位の船にマシントラブルが起きてリタイアをしていた為、気が付くと 2 位でのゴールとなっていました。

Moto#2 ではインコースの 2 位で合流では 4 位でした。その後は 3 位のライダーにプッシュし続けたものの最終的には抜くことができず、4 位のままでのゴールとなりました。

Moto#3 ではこのクラスのレース前に Stock クラスでマシンがエンジンブローをしてしまった為、1 周だけでもして 0 ポイントを回避しようと、とりあえずエンジンは動く状態になった Open 艇でスタートをしました。しかし、スタート後の 1 ブイ手前でステアリングケーブルが突然切れてしまった為、どうか足の抵抗を使って 1 周し、リタイアとなりました。

< レースを終えての感想 >

今回のマレーシア戦は例年の King's Cup 等のタイ戦同様、マシントラブルに泣かされたレースとなりました。また、Stock クラスでは優勝を目前にしていただけにこの結果はとても悔やまれます。しかし、タイからトップライダーが来てレースの質自体はとても上がったので、レースを通して良い練習となりました。

今回の悔しさをバネにして、7 月の下旬に行われる全日本選手権では Pro Ski クラスで優勝目指して頑張ります!!

今後とも応援の程宜しくお願い致します!!



Team WPS Japan
小原 聡将